

問1 神社の境内を案内しています。その発言のなかから適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア「入り口のところにあるのは、鳥居といいます。神聖な場所という目印なので、下をくぐらずにわきを通って下さい」
- イ「参道の両側にある獅子の像のようなものは狛犬と言います。神の使いなので、願い事があるときは狛犬にむかってお願いしましょう」
- ウ「参拝の前には手水舎で手と口を清めます。禊ぎという儀礼を簡単にしたのですが、清め方にも作法があります」
- エ「参拝は拝殿で行ないます。拝殿では祈祷を受けたり、神楽を奉納することもできます」
- オ「拝殿の奥には本殿があります。神が鎮座する場所ですが、社務所に申し出れば誰でも中に入ることができます」

問2 全国で約8万社の神社が宗教法人となっているが、これを包括している神社本庁に関して適切な記述を、次から2つ選びなさい。

- ア 神社本庁に包括されていない神社も少数だがある。
- イ 神社本庁は全国の神社の中心的位置を占める伊勢神宮の境内の中に置かれている。
- ウ 神社本庁の職員は国家公務員である。
- エ ハワイや北米にも少数だが神社があるが、これらは神社本庁には包括されていない。
- オ 神社本庁が設立されたのは、明治維新直後のことである。

問3 日本の祭りについて説明している次の発言のなかから、適切なものを2つ選びなさい。

- ア「昨年伊勢の神宮で20年に一度の遷宮が行なわれました。毎回最新の技術で新しい形の本殿を作っています」
- イ「京都の祇園祭は、祇園精舎に由来する仏教の儀礼で、夏の京都を代表するお祭りです」
- ウ「出雲では陰暦十月に全国から神が集まるという神在祭があります。そのため出雲では神無月と言わず神在月と言います」
- エ「神社のお祭りではよく御神輿<sup>おみこし</sup>が出ますが、これをかつげるのはその神社の氏子に限られています。」
- オ「節分のときには、多くの社寺で豆まきが行なわれます。宮中で行なわれた追儺<sup>おに</sup>という鬼を祓う儀式に由来するそうです」

問4 日本の神について、ほかの地域の神と比較しながら説明している文章として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア ユダヤ教やイスラム教では神の姿を描くことは禁じられますが、日本神話の神を描くことはとくに禁じられてはいません。
- イ 山などの自然を神としてまつるのは、ほかの地域にはない日本の特徴といえます。
- ウ 日本には動物の姿をしているとされる神がいます。こうした例は古代エジプトなどにもみられます。
- エ 日本の神はすべて平和的な神であり、ゲルマン神話にあるような戦う神の話は伝えられていません。
- オ 星や星座にまつわる話が多いのは、日本の神と古代ギリシアの神の共通点です。

問5 神社に関する一般的な説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 神社の中にはよく摂社や末社と呼ばれる小さな社があるが、これは参拝するためのものではない。
- イ 宗教法人法では、神社とみなされるには、鳥居、祭神をまつる本殿、そして礼拝のための拝殿を必ず設けなければならないと定められている。
- ウ 神社の祭神は『日本書紀』や『古事記』に登場する神々以外の神がまつられている例もある。
- エ 神社で祭祀を行う人は、神職とか神主と呼ばれることが多いが、その他にも禰宜<sup>ねぎ</sup>、大夫<sup>たゆう</sup>といった呼び方がある。
- オ 近代の神社制度では、伊勢神宮を頂点に、官国幣社、民社がそれぞれ本末関係を結んでいたが、1945年12月の神道指令により全て解消された。

問6 奈良時代と平安時代の日本の仏教の説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 中国人の鑑真は、奈良時代に日本にやってきて、初めて密教を伝えた。
- イ 奈良時代に唐に渡った僧によって開かれたのが、律宗や時宗である。
- ウ 平安時代の密教の展開にかかわった僧として、最澄と空海をあげることができる。
- エ 最澄も空海も、唐に渡って仏教を学び、帰国後それぞれ新しい宗派を開いた。
- オ 最澄と空海は、中国の仏教よりも日本の仏教がすぐれていると考え、いわゆる南都六宗の成立にかかわった。

問7 「南無阿弥陀仏」という唱え言葉の説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア これは日蓮が唱えることを提唱した言葉として知られている。
- イ これは「念仏」と呼ばれる唱え言葉である。
- ウ これは「阿弥陀様は南方にはいらっしやらない」という意味である。
- エ これは浄土宗や浄土真宗で唱えられる言葉として知られている。
- オ これは道元が朝晩唱えることを提唱した言葉として知られている。

問8 江戸時代の日本の仏教の説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 江戸後期にはキリシタンの禁教が解かれ、仏教とキリシタンとが融合したような信仰がしだいに広まった。
- イ 幕府は、檀家制度(寺請制度)を定めたので、それぞれの家は特定の寺を菩提寺にするようになった。
- ウ 明から来日した隠元は、明代末期の禅を日本に伝え、黄檗宗を開いた。
- エ 幕府は、神仏分離政策を行い、一部の地域では江戸時代初期から仏教を排斥する廃仏毀釈運動が盛んになった。
- オ 幕府は僧侶の戒律からの自由を大幅に認め、すべての僧侶は妻帯・肉食、頭髪を伸ばすことが可能になった。

問9 日本仏教の僧侶のあり方とアジアの他の国々の僧侶のあり方の比較として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 日本の僧侶が結婚することはごく普通であるが、上座仏教の国では戒律に反するので考えられないことである。
- イ 日本には女性の僧、つまり尼僧がいるが、尼僧は上座仏教にも見られる。
- ウ 日本では僧侶の飲酒が戒律で禁じられていないが、上座仏教でも僧侶の飲酒は原則として認められている。ただし、酔酩するほど呑んではいけないことになっている。
- エ 日本は山岳信仰の影響で山に寺院があるのは珍しくないが、これは他の国では見られないことである。
- オ 日本の僧侶は一般に肉食を避けないが、上座仏教では肉食は戒律に反するとされ、僧はお布施として肉をもらっても食べない。

問10 学生たちに自分の家の宗旨について調べさせたが、その宗派に関して正しく把握したと考えられるものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「私の家は代々浄土真宗でした。浄土真宗は日本の仏教宗派の中で、現在もっとも信者数が多いことが分かりました。」
- イ 「私の家は代々臨済宗でした。奈良時代にできた宗派であると分かりました。」
- ウ 「私の家は代々浄土宗でした。親鸞というお坊さんが始めたということが分かりました。」
- エ 「私の家は代々曹洞宗でした。江戸時代初期にできたもので、禅宗の一つであることが分かりました。」
- オ 「私の家は代々日蓮宗でした。日蓮というのは開祖の名前であることが分かりました。」

問1 1 近代以降成立した仏教系の教団と伝統的な日本の仏教とのかかわりについて説明したものとして適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 霊友会は、法華経を重視し、夫方妻方両家の先祖の総戒名を祀って供養することを強調している。
- イ 真如苑は、聖徳太子信仰と深いかかわりをもって形成され、十七条憲法を教義のなかにとりいれている。
- ウ 解脱会は、禅宗系の新しい教団として知られ、栄西や道元の教えを重視している。
- エ 創価学会は、当初は日蓮正宗の在家組織である創価教育学会として発足した。
- オ 立正佼成会は、浄土宗から強い影響を受けて形成された教団で、先祖供養を実践し、法然の教えを教義に取り入れている。

問1 2 日本における「信教の自由」についての記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 江戸時代の人々は、所属する仏教宗派を自由に変えることはできなかった。
- イ 明治維新によって、人々はまったく自由な宗教活動ができるようになり、とくに基督教の信者が急激に増加し、明治前半で数十万人に達した。
- ウ 大日本帝国憲法(明治憲法)は、その条文において形式的には「信教の自由」を認めていた。
- エ 第二次大戦後、信教の自由が大幅に認められたけれども、新たに宗教団体を結成する例はほとんどみられなかった。
- オ 現在の日本国憲法は政教分離が原則なので、「信教の自由」については何も触れていない。

問1 3 現代日本における宗教教育の現状についての記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 宗教系の中学校や高校は、戦前は仏教系の学校がもっとも多かったが、戦後は神道系がもっとも多い。
- イ 宗教系の学校としては、神道系、仏教系、基督教系、新宗教(近代に設立された新しい教団)系があるが、のうちもっとも多いのは、基督教系である。
- ウ 戦後になると宗教系の中学校や高校では、宗教的情操教育は認められるようになったが、宗教儀礼などに生徒を参加させてはならないことになっている。
- エ 初等及び中等教育において生徒に座禅をさせることは、戦前は義務であったが、戦後は逆に禁止されている。
- オ 基督教系の学校では生徒にもクリスマス行事に参加させているところがあるが、こうした儀礼や実践は生徒に強制しているのでなければ認められている。

問1 4 日本と基督教に関する記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 明治になって来日したプロテスタントの宣教師たちは、積極的に女子教育に従事し、白百合女子大学や東洋英和女学院大学の前身を設立した。
- イ ヘボン式ローマ字で知られるアメリカ人のヘボンは、カトリックの司祭として明治期に来日した。
- ウ ロシア正教を日本に伝えたのは、江戸時代に、漂流した日本人を連れて日本にやってきたロシア人ラクスマンである。
- エ 日本に基督教を最初に伝えたフランシスコ・ザビエルは、現在のローマ教皇フランシスコと同じイエズス会に属していた。
- オ 年末に軍服のようなものを着て「社会鍋」という募金をしている救世軍は、社会福祉活動に力を入れている基督教の団体で、もともとイギリスで19世紀後半に設立された。

問1 5 近現代日本の基督教に関する記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 日本基督教団というのは、複数のプロテスタントの教派が合同してできた組織である。
- イ 日本の基督教人口は、明治期に急速に増加したが、第二次大戦後は一貫して減少している。
- ウ 東京にあるニコライ堂は日本におけるもっとも古いカトリック教会の聖堂である。
- エ 東方正教会は幕末にロシアから伝えられ、現在も少数ながら信者が存在し、教会もある。
- オ カトリック教会や東方正教会の場合、聖職者のことを「牧師」と呼ぶのが一般的である。

問16 韓国の現代の宗教動向の説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 韓国では戦前に日本の神社が数多く建てられたが、戦後もそのいくつかが神社として残っている。
- イ 韓国のキリスト教会は戦後増加し、一部は韓国国外でも宣教活動を行っている。
- ウ 韓国には日本の宗教の信者となる人たちもいるが、そのうち教団側の報告でもっとも信者が多いのは創価学会である。
- エ 韓国の仏教にも日本の仏教と同じく、檀家制度がある。
- オ 韓国には戦前はシャーマンと呼ばれる人たちが数多くいたが、戦後はそうした人たちはみられなくなった。

問17 中国の宗教政策の説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 現在の中国では儒教、仏教、ヒンドゥー教、カトリック、プロテスタントの五教を公認宗教としている。
- イ 中国の西域にはイスラム教徒(ムスリム)が多いが、イスラム教を信じることは認められている。
- ウ 中国はロシアとの友好関係に配慮して、ロシア人のキリスト教宣教師には特別に布教活動を認めている。
- エ 中国は20世紀末以来、バチカンとは友好関係を保っているため、ローマ教皇が任命した司教をそのまま認めている。
- オ 中国では公認された宗教の関係者であっても、宗教家が政治に介入することは禁じられている。

問18 道教の神々について適切に述べられているものを、次から2つ選びなさい。

- ア 泰山府君は孔子を神格化したもので、道教の寺院には必ずまつられている。
- イ 媽祖とは航海・漁業の女神であるが、台湾、香港、マカオなどには媽祖廟がいくつもある。
- ウ 老子は神格化されて寿老人となり、中国では長寿の神として各地にまつられている。
- エ 道教の神の中には歴史的な英雄も含まれており、『三国志』の英雄関羽は、関帝、関帝聖君などという名で、現代でも崇拝の対象になっている。
- オ 観音菩薩は中国においては道教の神として信仰されるようになり、地獄に落ちた人たちの救いをつかさどる役になっている。

問19 中国の宗教史において仏教は重要な位置を占めるが、中国仏教についての記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 文化大革命で多くの仏教寺院が破壊されたので、現在の中国では、仏教寺院があるのは洛陽と西安とラサだけである。
- イ 中国の清朝時代には儒教が重視されたので、チベット仏教が厳しく弾圧された。
- ウ 大乘仏教の重要な経典のひとつである法華経は、中国においても広く受け入れられた。
- エ 唐の時代に玄奘は西域を経てインドに渡り、多くの経典を中国に持ち帰りそれを漢訳した。
- オ 中国では宋の時代にもっぱら禅宗が盛んになり、それ以後浄土信仰はほとんどみられなくなった。

問20 19世紀から20世紀にかけてアジアには新しい宗教がいくつか形成され、そのなかには国際的に活動しているものがある。これについての適切な記述を、次から2つ選びなさい。

- ア バハイ教は19世紀にイランで形成された宗教であるが、イスラム教の影響を強く受けている。
- イ シーク教は19世紀にインドで形成された宗教であるが、ヒンドゥー教の影響を大きく受けている。
- ウ 一貫道は20世紀に韓国で形成された宗教であるが、道教の影響が強くあらわれている。
- エ カオダイ教は20世紀にベトナムで形成された宗教であるが、その教えには儒教、仏教、道教などの影響が見られる。
- オ 東学は19世紀に台湾で起こった民族主義的運動であるが、その後台湾や香港の新しい宗教に大きな影響を与えた。

問2 1 東南アジアにおける宗教関連の世界遺産について適切に記述しているものを、次から2つ選びなさい。

- ア 世界遺産に登録されたタイの「古代都市スコタイと周辺の古代都市群」は、中国文化の影響を強く帯びており、大乘仏教寺院の遺跡が多い。
- イ カンボジアの世界遺産として登録された「アンコール」遺跡のうち、アンコール・ワットは、もともとヒンドゥー教の寺院として建立された。
- ウ フィリピンでは、16世紀のスペイン統治下時代に建てられた「バロック様式の教会群」が、世界遺産として登録されている。
- エ インドネシアの「ボロブドゥール寺院遺跡群」は、古代の上座仏教の遺跡として世界遺産に登録された。
- オ マレーシアの世界遺産として登録された「マラッカとジョージタウン、マラッカ海峡の古都群」のうち、古都マラッカは、他の地域にはない特徴のモスクが多いことで、世界遺産に指定された。

問2 2 南アジア・東南アジアの仏教の現状について適切に説明しているものを、次から2つ選びなさい。

- ア インドは仏教の発祥の地であり、現在でも人口の90%近くが仏教徒である。
- イ インドに隣接するパキстанは、最初に仏教が伝えられた地域であり、現在でも主要な仏教国の一つである。
- ウ ネパールは仏教の発祥地の一部を含んでおり、ヒンドゥー教の影響力は強いが、仏教徒も少なくない。
- エ スリランカは古代に仏教が伝来した地であるが、現在では仏教はすっかり衰退し仏教徒はほとんどいない。
- オ タイやミャンマーの仏教は、上座仏教に含められる。

問2 3 次は南アジアの宗教についての講義を受けた学生たちの会話である。講義を適切に理解したと考えられる発言を、次から2つ選びなさい。

- ア 「シーク教は、仏教と同じ時期に創始された宗教だったよね。」
- イ 「それは違うよ。仏教とおおよそ同じような時期に創始されたのはジャイナ教だよ。」
- ウ 「ヒンドゥー教は、仏教ができたあとにまったく新しくできた宗教だよね。」
- エ 「ヒンドゥー教は、バラモン教の伝統をもとに土着の民間信仰や習俗を吸収して成立したものだよ。」
- オ 「ヒンドゥー教は、一度インドからはほぼ消滅したが、20世紀になって急速に信者が増えたらしい。」

問2 4 南アジアの主要な観光地を紹介するブログを作っています。適切な説明となっているものを、次から2つ選びなさい。

- ア モヘンジョダロの遺跡群は、アショーカ王の時代に建設された初期の仏教寺院の遺跡群である。
- イ アジャンターの石窟群は、紀元前1世紀頃から開窟が始まった、古代インドの仏教寺院である。
- ウ タージ・マハルは、イスラム帝国であったムガール朝の皇帝によって建設された霊廟である。
- エ 釈迦の生誕地とされるルンビニーは、地理的にはインドの南部に位置し、アショーカ王の建立した石柱などが残されている。
- オ スリランカの黄金寺院は、アーナンダ寺院のように美しく彫刻されたヒンドゥー教の神々を祀っている。

問2 5 日本の外務省が把握している各国の宗教情勢について、これを的確に引用していると考えられるものを、次から2つ選びなさい。

- ア 現在のインドでは、ヒンドゥー教徒が人口の大多数を占めているが、ムスリム(イスラム教徒)も少なくなく、ムスリムの人口はシーク教徒を上回っている。
- イ パキстанは、イスラム教を国教としているが、仏教徒やヒンドゥー教徒も活発に活動している。
- ウ ネパールでは、ヒンドゥー教徒の人口よりも仏教徒の人口のほうが総人口に占める割合が高い。
- エ スリランカには、ヒンドゥー教徒やムスリムもいるが、仏教徒がもともと多い。
- オ インドでは、20世紀の初頭から仏教徒が急激に増えており、近年では仏教徒の総人口に占める割合がムスリムの割合よりも高くなっている。

問26 上座仏教寺院の説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア ガネーシヤ像などヒンドゥー教の神像が寺院境内に置かれていることもある。
- イ 女性の出家修行者のための建物を持つ寺院もある。
- ウ 阿弥陀仏や観音菩薩が本尊とされることが多い。
- エ 檀家の墓地の管理は、僧院に住んでいる僧侶たちにとってもっとも重要な役割の一つである。
- オ 世襲の住職が寺院を管理する例が非常に多い。

問27 現代の上座仏教に関する説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 欧米諸国では、アジア系移民が増えているが、スリランカや東南アジアからの移民が集う上座仏教寺院がある。
- イ ベトナムでは、ベトナム戦争が終わってから上座仏教徒が増え、キリスト教徒を上回るようになった。
- ウ ラオスでは、フランスからの独立後に生じた内戦の影響で、上座仏教寺院は壊滅状態になってしまい、仏教徒もほとんどいなくなった。
- エ ミャンマーでは、イギリス植民地からの独立後、キリスト教人口が上座仏教徒の人口を越えるようになった。
- オ 日本では、日本人信徒が多くを占める上座仏教団体が設立された例がある。

問28 東南アジアのイスラム教に関する説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア マレーシアはイスラム教が国教であり、国民の9割以上がムスリムである。
- イ ブルネイでは、イスラム世界の君主の呼び名の1つであるスルターンの称号を有した国王が国家元首である。
- ウ フィリピン北部のルソン島は、15世紀からイスラム教の盛んな地域で、現在はムスリム自治地域となっている。
- エ インドネシアは、国単位で比較するなら世界最大のムスリム人口を有する国である。
- オ 多民族国家のシンガポールでは華人系住民が多数派を占めているが、その大半がムスリムである。

問29 イスラム教の創始者であるムハンマドについての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア ムハンマドは、唯一絶対なる神の子であるという位置づけがなされている。
- イ ムハンマドは、預言者の一人とされている。
- ウ ムハンマドは、聖者として崇拜され、中東や北アフリカ各地にはその聖者廟がある。
- エ ムハンマドは、神から派遣された天使と位置づけられている。
- オ ムハンマドは、あくまで人間であるが、模範的な人間として位置づけられ尊敬されている。

問30 イスラム教の葬儀や死後に関する観念についての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 人は死後、すぐに火で清められることによって、来世に再生すると考えられているので、遺体は火葬にするのが一般的である。
- イ 地獄では神による懲罰として、罪を背負った悪人が業火で焼かれるという教えがあり、死後の火葬は忌避され、土葬が選ばれる。
- ウ 人は死後、輪廻転生を繰り返すと信じられているので、葬儀では遺族がアッラーへの祈りをささげ、またムスリムに生まれ変わるように願う。
- エ 埋葬は、死後、出来るだけ早く行われるべきであるとされていて、死後24時間以内の埋葬が勧められている。
- オ 埋葬後の墓参は、キリスト教の習慣であるとして、現在でも禁止されている。

問3 1 イスラム法の説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア イスラム法は、人間の行為全般にわたる神からの指針・命令である。
- イ イスラム法は、刑法のように神が人間に禁止する悪い行為だけを対象としている。
- ウ イスラム法が依拠しているものはスンナと呼ばれ、これはイスラム教発祥以前の部族の習慣である。
- エ イスラム法が依拠しているものはイジュマールと呼ばれ、これはモスクや大本山の代表者の意見が一致したものを指す。
- オ スンナ派には4つの法学派があり、ムスリムはどの学派の判断でも、自分の都合に合わせて選ぶことができる。

問3 2 ムスリム（イスラム教徒）の崇拝の対象の説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア ムスリムは昔から山や川も神格化していて、これらも崇拝している。
- イ ムスリムが崇拝する「アッラー」とは、アラビア語で「（唯一無二の）神」という意味である。
- ウ ムスリムは神のほか、聖者や天使を神と同じ働きをするものとして崇拝している。
- エ ムスリムは自分たちが崇拝する神は、キリスト教の神と同じと考えている。
- オ ムスリムは天体もまた神の働きによるものとして、太陽や月の女神を崇拝している。

問3 3 イスラム教にはウンマの思想があるが、これについての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア ウンマとは民族の意味であり、イスラム教発祥当時にマッカ（メッカ）に住んでいた民族を指している。
- イ ウンマとは、キリスト教のような教会組織のないイスラム教において、人々が集合するために作られた施設のことである。
- ウ ウンマとは、イスラム教の共同体を指す言葉であるが、ムスリムでなければメンバーにはなれない。
- エ ウンマとは、ムスリムの中の希望者による厳格な会員制の組織である。
- オ イスラム教では、人間は個人として神への信仰を持つと同時に、世界中どこにいても信者集団のメンバーとして生きることが求められ、この普遍的な集団をウンマという。

問3 4 キリスト教の聖書に関する記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア キリスト教という聖書と、ユダヤ教という聖書は、内容的にまったく同じである。
- イ プロテスタント諸派の多くは、旧約聖書を正式な聖書とはみなしていない。
- ウ 旧約聖書はもともとはヘブライ語で記され、新約聖書はギリシア語で記された。
- エ カトリック教会で聖書というときは旧約聖書を意味し、プロテスタント教会では新約聖書を意味する。
- オ キリスト教の新約聖書には、イエス・キリストの言行を記した福音書と呼ばれる文書が4つ含まれている。

問3 5 キリスト教の儀礼や習慣に関する記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 8月15日は日本ではお盆の時期であるが、ほとんどのキリスト教の国では「聖母マリアの被昇天祭」が盛大に祝われる日となっている。
- イ キリスト教では、クリスマス前の4週間は待降節（アドベント）といって、イエスの降誕を静かに待つために、肉食を禁じて節制する。
- ウ オールドドックス教会（東方正教会）では、写実的なイエスやマリアの聖像はなくイコンが置かれているが、最近ではカトリックの教会でもイコンが置かれているところもある。
- エ キリスト教会にはしばしば魚が描かれているが、その理由の一つに“イエス・キリスト、我らの救い主”を表すギリシア語の頭文字が「魚」という言葉になることがあげられる。
- オ 森林の多い北欧はプロテスタント教会が多いので、イエスの磔刑像がついた木製の十字架や木彫りのマリア像などが教会内にたくさん飾られている。

問36 多国籍企業に勤める人たちのキリスト教に関する下記の会話のうち、適切な内容と考えられるものを、2つ選びなさい。

- ア 「そろそろクリスマス・カードを送る時期なのだけれど、ユダヤ教徒の方の取引先には失礼になるかもしれないから送らない方がいいと、上司にアドバイスされたよ」
- イ 「熱心なキリスト教信者の中には、イエスが十字架にかけられた金曜日には肉を食べない人たちがいるので、配慮が必要だよ」
- ウ 「『旧約聖書』という言い方はキリスト教徒側からの名称なので、最近ではユダヤ教の人たちに配慮して、書かれている言語にちなんで『ギリシア語聖書』と呼ぶようになっているみたいだよ」
- エ 「取引先の人の名前が、アブラハム、ノア、イサクなど、聖書の中に出てくる名前であれば、キリスト教徒だってすぐわかるから知っておくと便利だよ」
- オ 「イースターというのは、キリストが復活したことを祝いキリスト教の最大の祭日なので、皆、七面鳥を焼いてお祝いするんだよ」

問37 世界各地のキリスト教に関する記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「ポーランドは以前ローマ教皇だったヨハネ・パウロⅡ世の出身地だけれども、当時はソ連の影響が強かったので、カトリックは少数派でロシア正教会の信徒が多数派だったそうだよ。」
- イ 「旧ソビエト連邦はロシア正教を篤く保護していたけれども、国の体制が崩壊して現在のロシアになった時に、たくさんの教会や修道院が壊されたんだそうよ。」
- ウ 「アメリカ合衆国はプロテスタントが多いけど、カナダはカトリックがプロテスタントより多くて、とくにケベック州はカトリックが圧倒的に多いみたいだ。」
- エ 「ルーマニアという国の名前は“ローマ”と関係があるみたいだけれど、国民の多くはローマ・カトリックではなく、東方正教会(オーソドックス)を信じているんだって。」
- オ 「南アメリカはアメリカ合衆国と地続きなので、プロテスタントの宣教師たちがたくさん派遣されたために、プロテスタントが多数派の国が多いんだよ。」

問38 イスラム教はユダヤ教、キリスト教と深い関わりをもつ宗教であるが、3つの宗教の歴史上の関係についての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア イスラム教では、ユダヤ教徒とキリスト教徒を、天啓の書を共有する民として、「啓典の民」と呼んでいる。
- イ コーランには旧約聖書や新約聖書の内容と類似するような部分もある。
- ウ イスラム教はその最初期から今日に至るまで、絶えずユダヤ教やキリスト教と対立関係にあった。
- エ 十字軍によって、キリスト教徒に対するムスリムの反感が増大し、各地で反キリスト教運動が展開された。
- オ 近代科学の基礎となった中世のイスラム科学は、ユダヤ教徒やキリスト教徒の助けを借りることなどなく、アラブ人だけの手で発展した。

問39 ユダヤ教の戒律に関して適切に記述しているものを、次から2つ選びなさい。

- ア 日曜日が安息日になっており、この日には羊を殺して神に捧げることになっている。
- イ 金曜日の日没から土曜日の日没にかけてが安息日であり、この日は仕事をしてはいけない。
- ウ ユダヤ教の戒律はイスラエル国内に住んでいるときに適用されるので、外国に行った場合は守らなくてもいい。
- エ 鶏肉を食べることは禁じられているので、戒律を守るユダヤ人は日本に来ててもフライドチキンを食べない。
- オ 動物の親と子を一緒に料理してはいけないので、戒律を守るユダヤ人はチーズバーガーを食べない。

問40 宗教の儀礼について正しく述べたものを、次から2つ選びなさい。

- ア 涅槃会と呼ばれる仏教行事は、ブッダ(釈迦)が生まれた日を祝う行事である。
- イ 春に行われる復活祭はイースターともいわれるが、これはキリストの復活を記念して行う行事である。
- ウ 端午の節供にチマキを食べるのは、今年も豊作になりますようにとの願いをこめたものである。
- エ 過ぎ越しの祭はペサハと言われるものであるが、ヒンドゥー教徒にとって最も重要な宗教的行事である。
- オ イード・アル・フィットルは、イスラム教におけるラマダン明けの祭りである。



問4 1 次はそれぞれの宗教の創始者に由来するとされている言葉である。これらのうちブッダの言葉とされているものを、2つ選びなさい。

- ア 「天上天下、唯我独尊。」
- イ 「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」
- ウ 「学ぶことの少ない人は、牛のように老いる。彼の肉は増えるが、知恵は増えない。」
- エ 「神聖なものを犬に与えてはならず、真珠を豚に投げてはならない。」
- オ 「人の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」

問4 2 宗教文化の問題が関わってきそうな事業を国外でやることになった会社が、大学でその国の主たる宗教に関することを学んだ社員を派遣するとして、まずは妥当と考えられる選び方を、次から2つ選びなさい。

- ア 南アフリカに社員を派遣するとき、学生時代にイスラム教について学んだ社員を選ぶ。
- イ パキスタンに社員を派遣するとき、学生時代にキリスト教について学んだ社員を選ぶ。
- ウ イスラエルに社員を派遣するとき、学生時代にユダヤ教について学んだ社員を選ぶ。
- エ フィリピンに社員を派遣するとき、学生時代に仏教について学んだ社員を選ぶ。
- オ インドに社員を派遣するとき、学生時代にヒンドゥー教やシーク教について学んだ社員を選ぶ。

問4 3 次の文はそれぞれ知り合いの日頃の行動から、その人の宗教を類推したものである。適切に類推しているものを2つ選びなさい。

- ア 「私の会社の同僚は、『ヨハネ伝には』、とか『マタイ伝には』、とか言うから、きっとユダヤ教徒なんだ。」
- イ 「私の友だちは、よく『正法眼蔵』から話を引用している。きっと熱心な曹洞宗の信者なんだ。」
- ウ 「私の友人にインド人がいるが、彼は法華経のことを大事にしているからヒンドゥー教徒だと思う。」
- エ 「私の会社には預言者的な人物の絵を描くのが好きな外国人がいるんだけど、その人物はだいたい白い衣を着ている。きっと彼はムスリムなんだ。」
- オ 「私の会社には外国人が多いんだけど、よくタルムードとかいう本について説明してくれる人がいるけど、きっとユダヤ教徒なんだ。」

問4 4 特定の宗教が扱われた映画があるが、そうした映画の内容について適切に説明しているものを次から2つ選びなさい。

- ア ムハンマドがアッラーの啓示を受ける場面を描いた映画として『パッション』がある。
- イ 旧約聖書には、神がモーセに戒律を示したことが記されているが、このシーンがあるのが『十戒』である。
- ウ 仏陀がさまざまな苦行を経て、悟りに至る生涯を描いたのが『偉大な生涯の物語』である。
- エ 道元が中国に渡り、仏道を修行したのち、それを日本に伝える苦勞を描いたのが『禅』である。
- オ イエス・キリストの弟子のペテロが、ローマにキリスト教を伝える苦勞を描いたのが『バラバ』である。

問4 5 宗教と倫理との関わりに関する記述のうち、適切な内容のものを次から2つ選びなさい。

- ア キリスト教では隣人愛について説いている。また先祖の追悼を大事にする。これらをアガペーという。
- イ 仏教では慈悲を説くが、自分を犠牲にしてまで他人のために尽くせということは説いていない。
- ウ 儒教では人間関係を重視するが、その1つに年上の人間を敬うというものがある。
- エ ヒンドゥー教では善い行いをしてそれが報われることは少ないと考え、来世によりカーストに生まれ変わるためには、シヴァ神に祈らなければならないと考える。
- オ イスラム教では富める者が貧しい者に施しをするのは義務とする考えがあり、この行為は喜捨と呼ばれる。

問46 シャーマニズムについての適切な説明を、次から2つ選びなさい。

- ア シャーマンが霊などとの交流をするときの状態の違いから、脱魂型と憑依型の大きく2つのタイプに分ける説がある。
- イ シャーマンの地位は例外なく直系の親から子へと受け継がれる。
- ウ 突然にシャーマンになるような召命型のシャーマンの場合、病気が重要なきっかけとなることが多いとされる。
- エ シャーマニズムは東アジアのみに見られる特異な信仰形態で、他の地域にはみられない。
- オ シャーマンはすべて女性であり、男性の例は知られていない。

問47 政教分離についての記述として、適切なものを次から2つ選びなさい。

- ア 現在フランスには、公立学校では宗教を誇示するような宗教的な標章を着用してはならないとする法律があるが、これはライシテと呼ばれる原則に基づいたものである。
- イ 北欧のノルウェー、スウェーデン、フィンランドではルター派(ルーテル教会)が国教となっており、キリスト教以外の宗教が活動することはできない。
- ウ 日本国憲法では、政教分離が原則となっているので、神職、僧侶、神父、牧師などは、国立大学の教員にはなれない。
- エ アメリカではキリスト教、とくにプロテスタントの信者がもっとも多いが、プロテスタントに法律上特別な地位が与えられているわけではない。
- オ エジプトではイスラム教が国教であるので、キリスト教徒の活動は公認されていない。

問48 宗教の類型についての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「多神教」とは、多くの神々を信じていた古代宗教に対して用いられる概念であり、現存する宗教に用いられることはない。
- イ 「神秘主義」とは、その教えや儀式を一部のメンバーだけの秘密としている宗教のことである。
- ウ 「世界宗教」とは、特定の文化や民族の範囲をこえて広い地域で信じられている宗教を指す。
- エ 「創唱宗教」とは、その宗教を創始した人物が分かっている、独自性が明らかな宗教のことを指す。
- オ 「民族宗教」とは、特定民族の始祖を崇拝する宗教のことである。

問49 ファン・ヘネップは儀礼のカテゴリーとして「通過儀礼」という概念を提唱したが、それに含めるのに適切な行為を、次から2つ選びなさい。

- ア 午前2時頃に神社その他でひそかに行われる丑の刻参りの呪術。
- イ ソンクラーンと呼ばれるタイの旧正月の祭り。
- ウ バル・ミツバと呼ばれるユダヤ教の成人式。
- エ 僧侶を招いて行われる仏教式の葬式。
- オ 長く旱魃が続いたときなどに行われる北米先住民の雨乞いの儀礼。

問50 さまざまな宗教研究者がこれまでにこなってきた宗教の定義を正確に紹介した記述を、次から2つ選びなさい。

- ア E.B.タイラーは「霊的存在への信仰」という要素が、あらゆる文化にあてはまる宗教の最小限の定義であると主張した。
- イ J.G.フレイザーは一神教を重要視する立場から、唯一の神的存在との交わりこそが宗教であると論じた。
- ウ マックス・ミュラーはアフリカ宗教についての長年の研究をもとにして、物に宿った霊力を信じるのが宗教の本質であると述べた。
- エ E.デュルケームは聖俗の観念、儀礼、教会の三つの要素から宗教を定義することが適切であると述べた。
- オ R.オットーは、人間が究極的な関心をもって何かに関わることが宗教であると定義づけた。